

2026
年度

歯科医師 臨床研修医

募 集 要 項

横浜市立大学附属2病院における臨床研修の特徴

相互に「たすきがけ」研修を行っているため、横浜市立大学附属病院・横浜市立大学附属市民総合医療センター2病院双方で、それぞれの特徴ある症例を学ぶことができます。



横浜市立大学
附属病院

**チーム医療に
積極的に参加して
充実した臨床研修を**

病院長 遠藤 格

歯科医療の技術や知識は日々進化しています。研修中だけでなく、常に学び続ける姿勢を持ち続けることが、あなたの成長を助け、より良い医療を提供する礎となります。大学病院における歯科・口腔外科・矯正歯科診療は、一般歯科治療やインプラント、唾石などの治療に加え、口腔がん治療にも大きな実績を上げています。技術だけでなく、患者さんへの思いやりとコミュニケーションも重要です。患者さん一人ひとりの不安や悩みに寄り添い、信頼関係を築くことで、治療の質も向上します。そして、大学病院でのチーム医療は多職種と触れ合う良い機会になります。スタッフや同僚との良好な関係を築き、お互いに支え合いながら、最良の治療を提供できるよう努めてください。

あなたのこれからの道のりには多くの学びと挑戦が待っていますが、そのすべてがあなたを素晴らしい歯科医師へと導いてくれます。自信を持って、目の前の一步一步を進んでいってください。応援しています！



横浜市立大学附属
市民総合医療センター

**「YCU Medical Center:先端医療の、
その先へ」のもと高度専門医療・地域医
療に対応できる歯科口腔外科医師の育
成を目指します**

病院長 病院長 田村 功一

横浜市の中心に位置する横浜市立大学附属市民総合医療センター(市大センター病院、YCU Medical Center)は、全国25大学が採択された「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の対象として令和7年度に国が認定した「研究の横浜市立大学」の柱となる大学附属病院です。そのため、当院は多職種協働体制のもと「研究」、「高度専門医療(予定入院)」、「救急医療(予定外・緊急入院)」を三本柱(Three Pillars)としています。当院の歯科口腔外科は、一般歯科治療や口腔がん治療を行っていることに加えて、口腔外科医と矯正歯科医の協働による顎顔面形成術にも取り組んでおり、日本でも有数の症例数と成績を誇ります。また、全国に178施設(2024年6月現在)しか認定されていないDPC特定病院でもあることから、一般の歯科診療では診ることのできない全身合併症のある患者さんが多くいらっしゃることも特徴です。さらに、平成29年度からは周術期管理センターが稼働し、近隣の歯科クリニックとも連携しながら周術期やがん診療における口腔ケア診療を推進しています。当院での初期研修プログラムを通して、地域に貢献し、高度医療も担える歯科医師の育成を行っていきます。



横浜市立大学附属病院



横浜市立大学附属市民総合医療センター

横浜市立大学附属病院 歯科・口腔外科 臨床研修プログラム

診療科 部長より



横浜市立大学口腔外科では附属病院及び市民総合医療センターの2病院で機能分担・連携を行っており、附属病院では口腔癌、市民総合医療センターでは顎変形症の治療を中心に診療を行っています。両疾患とも患者数は全国のトップクラスであり、2年間の研修で両病院での高度な研修を行うことが出来ます。

附属病院の1年目研修医は口腔外科の外来および病棟研修、2年目研修医は麻酔科、ICU、放射線科、形成外科で研修を行っており、幅広い医学的知識を得ることができます。厳しく熱心な先輩たち、同じ目標を持った研修医仲間と囲まれた研修医生活は非常に有意義で実り多いものになると信じています。



光藤 健司部長
歯科・口腔外科・矯正歯科

プログラムの特色

口腔外科へ進むには最適

将来、口腔外科診療に従事することを希望する方に適した研修となっています。そのため口腔外科臨床に重点が置かれた研修内容ですが、一般的な診療における基本的な診療能力を身につけることができる研修となっています。

豊富な症例、高度な診療内容

附属病院及び市民総合医療センターの附属2病院にて研修を行うことによって、豊富な症例の中から幅広い疾患を経験できる研修となっています。特に、口腔癌、顎変形症、インプラントに関しては先端的で高度な臨床に接することができます。

医科病院ならではの幅広い研修

医科の附属病院での研修という特性を生かし、全身管理に対する理解、技術の修得に関して高いレベルの到達度を目標とした研修となっています。このために麻酔科、ICUでの研修がプログラムに含まれています。さらに、チームアプローチによる口腔外科疾患の診療をより深く理解するために形成外科、放射線科などの協力診療科での研修を受けることも可能なプログラムとなっています。



1年次研修概要

■ローテーション例A

4月～ 9月	附属病院
10月～12月	センター病院
1月～ 3月	済生会横浜市南部病院

■ローテーション例B

4月～ 9月	附属病院
10月～12月	センター病院
1月～ 3月	附属病院

2年次研修概要

■ローテーション例

4月～ 7月	附属病院麻酔科 (ICU含む)
8月～10月	附属病院放射線科
11月～12月	附属病院形成外科
1月～ 3月	附属病院口腔外科

研修医からのメッセージ!!

横浜市立大学附属病院で、口腔外科研修を始めませんか? 2年目研修医:王 靖斐・矢島 孝紀・尾古 昂輝・小柳 里緒

横浜市立大学附属病院口腔外科では、2年間にわたる充実した研修プログラムを提供しています。1年目は、横浜市立大学附属病院、市民総合医療センター(プログラムA,B)、および横浜市済生会南部病院(プログラムA)にて、口腔外科学を中心とした臨床研修を行います。附属病院の1年目研修医は、外来と病棟に分かれてそれぞれの業務に取り組みます。外来では、午前中は初診新患の診察、午後は抜歯術や生検などの小手術を実践的に経験することができます。病棟業務では、水曜・金曜の手術日は全身麻酔での手術に参加し、それ以外は入院患者の全身管理、病棟内での処置、嚥下機能検査など、基礎から実践まで幅広く学べる環境です。また、口腔癌手術や進行口腔癌に対する動注化学放射線療法、顎変形症や唾石症に対する手術にも携わることができます。2年目には、口腔外科に加え、放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・ICU・形成外科など、関連する診療科での研修が組まれています。これにより、口腔外科と密接に関わる幅広い知識と技術を習得することができます。当院で研修をスタートすれば、早期から病棟管理のスキルを身につけるとともに、口腔癌、顎変形症、唾石症、埋伏歯抜歯など多様な症例に対応する経験を積むことができます。

私たちは、口腔外科医としての第一歩を横浜市立大学附属病院で踏み出し、共に成長していける仲間を心よりお待ちしております。

横浜市立大学附属 市民総合医療センター 歯科・口腔外科・矯正歯科 臨床研修プログラム

診療科 部長より



鉄は熱いうちに打て！

2年間の実践的研修を通じて、深い知識と高度な技術を習得し、人間性を高め、広く社会に貢献しうる歯科医師の育成を目指します。学が意欲に溢れ、健康で明るい研修医を募集します。

よく学び、よく働き、よく遊ぶ。厳しくとも楽しく充実した研修生活が待っています。



高須 曜部長
歯科・口腔外科・矯正歯科

プログラムの特色

1. 大学附属病院らしい高度専門医療、学会研究活動とともに、大学病院でありながらアットホームで親しみやすい雰囲気の中でのびのびと研修が可能です。
2. 横浜市中心部に位置し、地域の歯科医師会との密接な病診連携があり、埋伏歯の抜歯をはじめとして顎変形症、腫瘍、炎症、外傷など幅広い新患患者が年間2500から2800人
3. 全身麻酔の手術日週3日火、木、金で年間300件以上、なかでも顎変形症に対する上下顎移動術は年間100件以上で全国でもトップクラスの症例数を数えています。
4. 2年間のプログラムを終了するまでに原則として日本口腔外科学会認定の口腔外科認定医の取得に必要な診療レベルと経験症例数を目指します。
5. 横浜駅から地下鉄で約10分、病棟からはみなとみらいの街並みを見渡すことができ、休日には元町・中華街・関内・馬車道が仕事疲れをきっと癒やしてくれることでしょう。



1年次研修概要

全身疾患を有する患者の歯科医療と全身管理、埋伏智歯抜歯などの小手術を中心に、歯科医療全般に対する基本を習得します。

■ローテーション例

4月～12月	センター病院
1月～3月	附属病院

2年次研修概要

口腔外科、矯正歯科及び麻酔科で、さらに専門的で高度な知識と技術の習得を目指します。

■ローテーション例

4月～6月	センター病院麻酔科
7月～3月	センター病院口腔外科

研修医からのメッセージ!!

口腔外科医としての第一歩！

横浜市立大学附属市民総合医療センター歯科口腔外科の研修は2年間となっており、2年目では口腔外科に加えて麻酔科での研修が組み込まれています。外来では研修医が初診患者の問診を行うため、抜歯や粘膜疾患、外傷、良性・悪性腫瘍への理解が深まります。口腔内診察や画像所見から診断し、上級医と相談しながら治療方針まで決定するため、それぞれの疾患に対する治療の一連の流れを学ぶことができます。また、当科は外来小手術も豊富であり、普通抜歯から埋伏智歯抜歯、生検術など多くの局所麻酔下での処置が行われています。全身麻酔下の手術は顎変形症に対する上下顎骨形成術、顎骨骨折の観血的整復固定術、悪性腫瘍に対する手術など、こちらも多くの症例に恵まれています。特に顎変形症に対しては、コンピューターシミュレーションソフトやSLMシステムを用いた精度の高い手術が行われ、症例は全国でもトップクラスです。矯正歯科の専門医が常勤として勤務しているため、口腔外科だけでなく矯正医の視点からの手術について学ぶことができます。入院患者の病棟管理にも携わることから、全身管理についてだけでなく多職種連携について学ぶこともできます。

将来口腔外科医として第一線で活躍するための基礎を十分に学べる2年間になると考えています。是非、一緒に研修しましょう！

センター病院研修医 池田 裕子、天間 比奈子

2026年度 募集概要

募集予定人数

横浜市立大学附属病院：プログラムA 2名・プログラムB 2名
横浜市立大学附属市民総合医療センター：2名

研修期間

2年間 基本習熟研修を1年間とします。引き続き基本習得研修として、さらに1年間の研修を実施します。

待遇

- 身分／公立大学法人横浜市立大学 非常勤職員(臨床研修医)
- 報酬
 - ・賃金月額：209,100円
 - ・期末手当：年2回
 - ・通勤手当：あり
- 厚生／公立学校共済組合、厚生年金、雇用保険、横浜市厚生会に加入可
- 休暇／年次休暇16日、夏季休暇5日、服忌休暇など
- 宿舍／住宅補助あり(上限3万円／月を支給)

注)アルバイトは禁止です!!

採用試験関係

- 日時／2025年7月27日(日)10:00～ 出願期間：2025年6月16日(月)～7月11日(金)(必着)
- 会場／横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 応募資格／原則として2026年3月に歯科医師免許取得見込の者
- 試験内容／書類審査、英語筆記試験(午前)、面接試験(午後)
- 出願書類／履歴書(A3またはA4裏表)、卒業(見込)証明書、成績証明書、CBT(歯科)試験結果

出願書類送付先

〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 人事担当

- 採用／2025年度歯科医師臨床研修マッチングに参加しますので、マッチング終了後に採用内定を通知します。
歯科医師国家試験に合格した後に正式に採用します。

研修開始日

2026年4月1日

問合せ先

研修内容について ●横浜市立大学附属病院

横浜市立大学大学院 口腔外科学 医局秘書

kouku@yokohama-cu.ac.jp

●横浜市立大学附属市民総合医療センター

歯科・口腔外科・矯正歯科部長 高須 曜

takasu@yokohama-cu.ac.jp

病院案内

横浜市立大学附属病院

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

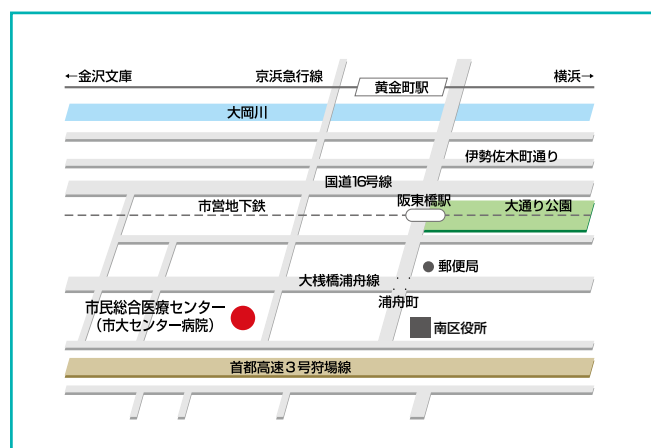


交通

- JR根岸線「新杉田駅」下車。シーサイドラインに乗り換え(徒歩3分)「市大医学部駅」で下車(所要時間15分)。改札を出て右手の自動ドアを抜けると当院。
- 京浜急行線「金沢八景駅」下車。シーサイドラインに乗り換え(徒歩5分)「市大医学部駅」で下車(所要時間10分)。改札を出て右手の自動ドアを抜けると当院。

横浜市立大学附属市民総合医療センター

〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57



交通

- 横浜市営地下鉄ブルーライン「阪東橋駅」下車。(徒歩5分)
- 京浜急行線「黄金町駅」下車。(徒歩8分)